



「気合い入れていくぞー！」

4/15 南丹市長杯少年野球大会

広報
なんたん

もくじ

- 2 日吉町地域でCATVのサービスを開始
- 4 応援します あなたの子育て
- 6 第10回記念大会日吉ダムマラソン開催
- 8 行政トピックス 殿田小学校統合式・他
- 11 郵便局で諸証明書が受け取れるようになります

5月号

2007年 Vol.17

日吉町地域でCATVのサービスを開始

情報整備
シリーズ

—4—

日吉町地域での光ファイバーによる南丹市地域情報通信基盤整備事業が完了し、CATVのサービスを始めました。また、平成二十年四月からのサービス開始に向けて引き続き、美山町・八木町地域での整備を進めています。

CATVは地域と人をつなぎます



▲軒先に引き込まれた光ファイバーケーブル

二〇一一年七月、テレビのアナログ放送が終了し、地上デジタル放送へ完全移行されます。南丹市では、全市域に整備した光ファイバー網を活用したさまざまなサービスを行います。日吉町地域では、お申し込みいただいたご家庭までの光ファイバー引き込み工事が完了し、地上デジタル放送やインターネットのサービスをお楽しみいただいています。

今後の整備 スケジュール

美山町・八木町地域

美山町地域では、平成十七年度から平成十九年度の三カ年で、地域内に光ファイバー網を整備します。平成二十年四月にはサービスを開始する予定です。

八木町地域では、平成十八年度から、地域の公共施設および各地区の公民館までの光ファイバー網を整備しています。また、平成十九年度は各家庭までの光ファイバーを整備し、平成二十年四月にはサービスを開始する予定です。

両地域の加入申込については、すでに受け付けが始まっています。また、本年十二月までの加入促進期間にお申し込みいただくと、基本加入金四万円が二万円となり、通常は個人負担となる引き込み工事も無料となります。

園部町地域

平成十八年度に京都新光悦村区域および、内林町土地区

地域	年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
	園部		← 新光悦・内林地区整備 →			現行のサービスを継続			← 光ファイバー網整備 →
八木		← 光ファイバー網整備 →		サービス開始					
日吉		← 光ファイバー網整備 →		サービス開始					
美山		← 光ファイバー網整備 →		サービス開始					

地上デジタル放送完全移行 (7月)

ケーブルテレビで毎日が 楽しくなりました!



森木 昌子さん
(日吉町胡麻)

CATVがつながるまではテレビ画質が荒かったのですが、CATVになって、きれいな画質のテレビ放送が毎日見れるのがとてもうれいのです。また、これまでよりも見ることが出来るチャンネルが

多くなって、子どもも大人も楽しんでいきます。自主放送番組では、学校や地域の行事で、「保護者席」から見るよりも近くから、子どもたちの表情を見ることができて、おもしろいです。自主放送を生かして、住民も参加していけるような番組で、もっとCATVを身近に感じられるおもしろい番組を期待しています。



宇野 一樹さん
(日吉町畑郷)

CATVがつながって、自主放送番組で地域の行事が放送されるのを見てみると、南丹市が合併したことを実感でき、面積の広い市内が身近に感じられるようになりました。特に天気予報で地域ごとの

CATVで身近な情報を、南丹市民同士で共有できるようになり、このことを生かして、地域の産業や人の交流を活性化していき、南丹市の振興につながってほしいです。CATVが早い時期に市全域にサービス開始されることを希望し、事業関係者にお礼申し上げます。

画整理事業区域における光ファイバーケーブルの整備が完了しています。なお、平成十五年度にケーブルの張り替えが済んでいる

ので、新光悦・内林地区以外では現在のケーブルテレビ網をそのまま利用し、平成二十四年度および二十五年度に、光ファイバー化を行う予定です。

南丹市情報センターからのお知らせ

番組制作に

皆さまの意見を

自主放送番組の制作、充実には市民の皆さまのご協力に欠かせません。番組制作に直接ご参加いただいたり、情報をご提供いただくほか、放送した番組に対するご意見をお寄せください。

番組制作では、市民の皆さまが撮影されたビデオを放映することもできます。

最近のビデオ機器の性能であれば、簡単にきれいな映像や音声を収録できるようになっています。

利目的、宗教目的の作品は、放送できません)

ご応募される場合は、ビデオテープに、撮影時の簡単な紹介文を添えてお送りください。お待ちしております

高速インターネット サービスが利用できます

南丹市のケーブルテレビでは、常時接続のインターネット環境を定額料金で利用できます。

情報検索やメールなど、全世界とリアルタイムでつながる環境が整います。

送付先・お問い合わせ

南丹市情報センター
〒六二二-〇〇〇四

南丹市園部町小桜町六二-一
TEL(〇七七)六三一-七七七

投稿ビデオを募集します

皆さまが撮影された地域のお祭りや催し、まちで見かけた素敵な風景など、番組内で放送させていただきます。(営

応援します



あなたの子育て —南丹市の子育て支援—

南丹市では、次代を担う子どもたちが心豊かに育つ環境を整備しています。市民の皆さまが安心して出産し、健やかな子育てを行えるように、南丹市でもそのお手伝いをしています。

●どんなサービスがあるの？

「子宝祝金支給事業」「すこやか手当支給事業」といった、安心して出産し、子育てをしていただけの独自の支援制度があります。また、子育てに関する不安や悩みを一緒に考えていくための支援などを行っています。

主な事業内容は次のとおりです。

●子宝祝金支給事業

「子宝祝金」はお子さまの誕生を祝福し、健やかな成長を願って支給します。

支給は市内に三年以上居住されている方が出産された場合に対象となります。第一子で五万円、第二子で十万円、第三子以降で三十万円を支給します。

支給を受けようとする人は、各支所健康福祉課に申請をしてください。申請には印鑑と預金通帳（郵便局以外）が必要です。

●すこやか手当支給事業

「すこやか手当」は児童の養育費を助成するものです。

子どもたちの健やかで生き生きとした成長を願うとともに、家族の絆を大切に、安心して子育てができることを目的としています。

支給は市内に三年以上居住されている方のお子さんが、満五歳に達する日の前月までの間、第一子で三千円、第二子で四千元、第三子以降で六千元を支給します。

支給を受けようとする人は、各支所健康福祉課に申請をしてください。

●すこやか子育て医療費助成

市内に一年以上居住されている方で、小学校から高等学校などを卒業するまでの児童

は、一カ月一医療機関につき、二百円の負担で医療が受けられます。医療機関が発行する領収書を、各支所健康福祉課にある申請書に添付して提出していただきますと、個人負

担分の二百円を差し引いた額（加入されている保険に附加給付などのある場合は、その給付額も差し引く）を払い戻します。

●遊びの広場

乳幼児とその親に対して、保育士らによる親子遊び・交流の場を提供しています。開催の詳細については、その都度「お知らせなんたん」に掲載します。子ども同士・親同士が交流できる場として、気軽に利用していただけます。

●専門的育児支援事業

医師や言語聴覚士、臨床心理士らの専門的な立場から、乳幼児健診や各種相談の場で気になるお子さんの相談やアドバイス、関係機関との連携を行い、子どもたちの心や体の成長と発達を支援します。

予約制になっていますので、各支所健康福祉課の保健師にご相談ください。

●子育てサポート事業

妊産婦期から義務教育終了までの子育て期にある家庭で、育児疲れや子育てなどが困難な世帯に対して、子育てサポ

気軽に相談でき 気軽に親子で遊べるところ

—南丹市子育てすこやかセンター—



松村 亜紀子さん
琴音ちゃん
(1歳7カ月)

ここに来たら、同じ年くらいの子どもが集まってくるので、子ども同士楽しく遊んでいます。親同士も子育ての話ができる交流の場として、とても助かります。



高橋 寿子さん
遼永くん
(1歳1カ月)

平日の昼間でも施設を開放してくれているので助かります。子ども同士も、楽しく遊びながら社会性が身に付く良い環境で、ありがたいです。



指導員 今井美智代さん(右)
鴨井優美さん(左)

指導員の今井美智代さん、鴨井優美さんにセンターの説明をしていただきました。

Q どんな子どもたちが利用できますか？
A 就学前の親子。特に家で保育をされている親子にはぜひ、利用していただきたいと思えます。今は、四カ月から二歳くらいのお子さんと保護者の方が多く来られます。

すか？
A 子育てについて親子で学んでもらえる「子育て広場」と、親同士・子ども同士が遊びながら交流してもらえ「集いの広場」を定期的に行っています。「子育て広場」では栄養士や保育士、歯科衛生士の方が子育てに関するお話をされます。「集いの広場」ではお話し会や折り紙教室など、遊びながら交流ができます。

Q いつ開いていますか？
A 平日の昼間はサロンとして解放しています。催しが無くても、時間があればセンターに来られる方もいらっしゃいます。また、子育て指導員が日ごろの子育ての悩みや相談



▲親子で遊びながら交流できます

も気軽に声をかけてください。安心した子育てができるよう、応援します。

●お問い合わせ先

南丹市子育てすこやかセンター
(園部町小桜町四三二二)

※園部幼稚園に隣接
TEL 〇七七一—六八一〇〇八二

ーターを派遣し、子どもの世話や家事などを助け、健やかな子どもの成長を支援します。派遣を希望される方は、各支所健康福祉課まで申請をしてください。申請には母子健康手帳と印鑑が必要です。

●チャイルドシート

購入費補助

市内に居住されている方で、チャイルドシートを購入された満六歳未満の乳幼児の保護者を対象に、補助金を交付しています。補助金は一万円を上限に、購入費用が一万円未満のもはその額とし、百円未満を切り捨てた額を補助します。補助を受けようとされる方は、支払いをされてから六カ月以内に、領収書または販売証明書を添えて、各支所健康福祉課へ申請してください。

●お問い合わせ先

南丹市福祉事務所
TEL 〇七七一—六八一〇〇〇七
各支所健康福祉課
園部 TEL 六八一〇〇一〇
八木 TEL 四二二〇〇二二
日吉 TEL 六八一〇〇三二
美山 TEL 六八一〇〇四一

ランナーが ダム湖畔を快走!

第10回記念大会 日吉ダムマラソンの記録 (敬称略)

種 目		優 勝 者	優勝タイム
ハーフマラソン (21.0975 ^{キロ})	男 子	18~40歳	水田 和宏 1時間12分52秒
		41歳以上	柿原 貴次 1時間17分08秒
	女 子	18~40歳	坂根充紀米 1時間29分01秒
		41歳以上	川田 千秋 1時間29分34秒
10 ^{キロ} ロードレース	男 子	大石 哲也	新 32分10秒
	女 子	中島 早苗	37分21秒
ファミリーレース (3.5 ^{キロ})		太田 翔	新 10分55秒

(新)…大会新記録

第10回記念大会日吉ダムマラソン開催

四月二十二日、府民の森ひよしをスタート・ゴール地点として、第十回記念大会日吉ダムマラソンが開催され、千七百四十五人のランナーが新緑あふれる日吉ダム湖畔で健脚を競いました。

開会式では、井尻治大会会長が、「きれいなダム湖畔を、けがのないよう快走してください」とあいさつ。

続いて、南丹市日吉町在住の坂野克さん、裕子さん、光風君、朝光君親子が、「わたしたち選手一同は、日ごろの練



▲雨の中を懸命に走るランナー

習の成果を十分に発揮し、最後まで走り抜くことを誓います」と元気に選手宣誓されました。その後、十回大会を記念して来賓の方々による山桜の記念植樹が行われました。午前十一時、スターターを



▲宣誓をする坂野さん親子

務める佐々木市長の号砲で、ハーフマラソンを皮切りにファミリーレース、一〇^{キロ}ロードレースが順次スタートしました。また、十回大会を記念して、元オリンピック代表の真木和さんがゲストランナーとしてファミリーレースに参加し、大会を盛り上げました。

雨の降る中での大会となりましたが、沿道につめかけた市民や観光客の声援も後押しとなり、大会新記録が出るなど白熱したレースが展開され、日吉ダム周辺が熱気に包まれていました。



▲ゴールに到着



▲新緑の府民の森を一斉にスタート

1,745人の 日吉

ボランティアスタッフは 支えの力で迎えた十回大会

日吉ダムマラソンは、多くのボランティアスタッフが大会の運営を支えました。コース上での給水係や監察

係、受付係、駐車場係、環境美化係、前日の会場設営や後片付けなど、三百五十人が運営に協力。

また、四月十四日の事前説明会では、AED（自動体外



▲給水所で選手たちを励まします



▲ゴール後に計測機を回収

式除細動器）講習を受け、本番に備えました。

さらに、明治鍼灸大学の協力で、ランナーをサポートする姿も見られました。

第一回大会から大会を支えてこられたボランティアスタッフの方の声をお届けします。



▲事前説明会でのAED講習

「やりがいを感じています」

岩田 勇さん (72歳)



これまでの全ての大会に参加してきました。参加者に美しいダム湖畔を楽しく走ってもらえると、ボランティアスタッフとしてのやりがいを感じます。これからも、参加者の思い出に残るような大会として、続けていきたいです。

「私たちの声援で元気に走って」

今西綾子さん (53歳)



ランナーに「がんばれ！」と声を掛けるのが楽しいです。私たちの声援で元気に走ってもらえることに、ボランティアスタッフとしての楽しさを感じます。この楽しさを通じて、これからも大会を盛り上げていきたいです。



新たな殿田小学校の第一歩を踏み出す —殿田小学校統合式・入学式—



▲新たな殿田小学校が始まりました

平成十九年三月で閉校した五ヶ荘小学校と、殿田小学校との統合式を、新しく完成した殿田小学校体育館で行いました。

統合式では齊藤進南丹市教育委員会委員長が「五ヶ荘小学校の伝統を引き継ぎ、新たな殿田小学校としての第一歩を踏み出しました」とあいさつ。また、佐々木市長が「子どもたちが大きな希望を胸に、統合して良かったと言われるように取り組んでいきたい」と式辞を述べました。最後に、六年生の吉田奈菜さんと木村未優さんが、「より良い学校に



▲新入生24人が元気に入学

なるように、友情の輪を広げていきたい」とあいさつをしました。

統合式終了後には入学式が行われ、殿田小学校下村^{たかし}校長が「今夏には新しい校舎も完成し、自然の豊かな環境を生かして、心豊かな児童を育てていきたい」と式辞を述べました。また、児童を代表して、六年生の栃下文吾君が「これからは殿田小学校の仲間です。分からないことは何でも聞いてください」と歓迎のあいさつをしました。

殿田小学校は新入生が二十四人で、全校児童数は百四十二人となりました。



▲市長に答申を行う高井委員長（左から2人目）

福祉のまちづくりをめざす
次世代育成支援行動計画
障害者及び障害福祉計画 答申

昨年八月に策定委員会を設置し検討が行われてきた、南丹市福祉計画「次世代育成支援行動計画」および「障害者及び障害福祉計画」の協議が終了し、四月十七日に策定委員会を代表して高井豊委員長と木村純三副委員長が市長に答申をされました。

計画では、地域と行政が一体となった子育て支援と、障がいのある人の自立と社会参加に向けたまちづくりが求められています。

市ではこの答申を受け、今年度中に「南丹市福祉計画」を策定する予定です。



▲野生鳥獣対策が話し合われました

**被害を最小限に
捕獲計画を立てる**
—南丹市野生鳥獣被害
対策運営協議会—

四月十一日、南丹市野生鳥獣被害対策運営協議会を市役所で行い、森林組合や猟友会、京都府などから二十一人の委員が出席しました。

協議会では杉森寛会長が「近年、野生鳥獣による被害で作物の生産意欲が薄れてきており、被害防止策が急務である」とあいさつされました。そして、平成十八年度の野生鳥獣による被害報告があり、住宅地での熊の目撃例があるなど、地域の実情に合わせた今後の捕獲計画が話し合われました。

AEDで心停止の救命措置を体験 —AED取り扱い説明会—



▲AEDの説明を受ける中学生

三月二十六日、南丹市立園部中学校で市内および京丹波町の中学生を対象にしたAED（自動体外式除細動器）の講習会が行われ、およそ六十人が参加しました。

講習会では明治鍼灸大学附属病院麻酔科の智原栄一先生によるAEDの説明が行われた後、実際に参加者が人形を使って救命措置を体験しました。AEDは、昨年度に園部ライオンズクラブと北桑田ライオンズクラブから市内の各学校に寄贈いただき、心停止の救命措置に役立てられます。



▲一人ひとりに辞令が手渡されました

地域の交通安全を守る —交通指導員辞令交付式—

四月十六日、南丹市交通指導員の辞令交付式を市役所で行いました。

南丹市交通指導員は地域の交通安全の保持と交通事故の防止を図るための啓発や活動を行っています。現在五十六人が活動しており、今年度から新たに九人が交通指導員として活動をします。

式では、佐々木市長が「地域の安全、安心を守るための交通安全活動を心からお願います」とあいさつ。その後、指導員としての心構えや実技講習を行いました。

地域の健康は私たちが守る —南丹市食生活改善推進員 協議会総会—

四月十九日、南丹市食生活改善推進員協議会総会が、南丹市園部公民館で行われました。

同協議会では「私たちの健康は私たちの手で」を合言葉に、地域の食生活改善を中心に、百八十四人の会員の方が活動されています。

総会では、八木支部松本浩子前会長が「地域の健康を私たちの手で守っていく」とあいさつされました。



▲あいさつをされる松本浩子前会長

いさつされました。また、今年度の会長に東増美さんが選任され、離乳食教室などの事業計画が話し合われました。

行政相談委員 委嘱

行政相談委員は、総務大臣が民間の有識者の中から委嘱している委員で、行政の仕事に関する苦情、問い合わせなどの相談を受け付け、解決を図る業務を無報酬で行っています。

四人の委員が各地区を担当し相談所を開設されています。お気軽に相談にお越しください。

相談所開設日程は、市役

行政相談委員

氏名(敬称略)	担当地域
麻田 勝司	八木町
日下部 純子	園部町
田中 信夫	日吉町
森 健太郎	美山町

所総務財政課庶務係までお問い合わせください。
※四月二十七日発行の「お知らせなんたん」にも掲載しています。

TEL(〇七七二)六八—〇〇二二



太鼓活動のたすきをつなぐ —丹波路太鼓の会が太鼓を寄贈—



▲西本梅小学校に寄贈された太鼓

四月十六日、南丹市立川辺小学校と西本梅小学校、京都府立淇陽学校に丹波路太鼓の会から三台の太鼓が寄贈されました。

丹波路太鼓は昭和五十五年旧園部町で発足され、学校やサークル活動における太鼓の普及の先駆けとなりました。今回の寄贈は同会が解散されるにあたり、市内で太鼓の活動をされている学校のうち、太鼓が不足している三校へ、今後の活動の発展に役立ててもらおうと寄贈されたもので



▲八木支所で行った認定書の交付

**すこやかな成長を願い支給
—子宝祝金・すこやか手当
支給認定式—**

子宝祝金・すこやか手当支給認定式を市役所各支所で行いました。

今回は、一月から三月までに申請のあった新生児二十六人（園部十二人、八木五人、日吉五人、美山四人）に、子宝祝金とすこやか手当での認定書が、各支所長から手渡されました。

このうち八木支所では、四月二十四日に市役所担当者から保護者の方へ制度の説明を行った後、申請のあった五人の新生児に認定書が手渡されました。

淇陽学校新寮舎が完成

淇陽学校新寮舎完成記念式典

四月十九日、園部町栄町の京都府立淇陽学校で新寮舎の完成記念式典が行われました。

同校は、京都府が一九一三年に設定した府内唯一の児童生徒の自立を支援する児童福祉施設で、現在、二十七人の生徒が寮生活を送りながら勉学に励まれています。新寮舎は、旧寮舎の老朽化に伴い建て替えられたものです。

式では、山田啓二知事が「子どもたちが健やかに成長で

きるよう期待します」と式辞。また、生徒たちによる勇壮な太鼓演奏が披露されました。



▲真新しい寮舎を見学する山田知事ら

お詫びと訂正

広報なんたん4月号に掲載した内容に誤りがありました。お詫びして訂正します。

9 ページ

(誤) 小杉嘉之 ⇒ (正) 古杉嘉之

人口累計

(誤)

●総人口：35,751人
(-215)

(男：17,133人・女：18,618人)
(-132) (-83)

●世帯数：13,343世帯
(-122)

平成19年4月1日現在

(正)

●総人口：35,749人
(-217)

(男：17,132人・女：18,617人)
(-133) (-84)

●世帯数：13,341世帯
(-124)

平成19年4月1日現在

6月1日から 市内6カ所の郵便局で住民票の写しなどの 証明書が受け取れるようになります

身近なところで
証明書を交付します

六月一日から園部船阪郵便局、埴生郵便局、神吉郵便局、吉富郵便局、胡麻郵便局、日吉四ツ谷郵便局の市内六カ所で、住民票の写しや印鑑証明、納税証明書などが受け取れるようになります。

取扱郵便局の窓口で証明書の交付請求をしていただくと、市役所から郵便局に設置した専用のファクシミリで証明書を発行します。

このファクシミリは個人情報保護のため、各郵便局と市役所を専用線で行っています。

取り扱える郵便局、証明書の種類、交付の請求ができる方、手数料は下表のとおりです。除籍謄本や改製原戸籍謄本の交付はできませんので、市役所・各支所で請求してください。

なお、請求者の本人確認のため運転免許証や健康保険証、外国人登録証明書などの身分証明書を必ずご持参ください。

取扱郵便局

園部船阪郵便局 (園部町船阪)
埴生郵便局 (園部町埴生)
神吉郵便局 (八木町神吉)
吉富郵便局 (八木町木原)
胡麻郵便局 (日吉町胡麻)
日吉四ツ谷郵便局 (日吉町四ツ谷)
受付時間 9:00~17:00 土、日、祝日・休日 12/29~1/3を除く

郵便局で取り扱う証明書

証明書の種類	申請できる方	手数料
戸籍全部事項証明書(謄本)	本人または同一戸籍に記録されている方	450円/通
戸籍個人事項証明書(抄本)		
外国人登録原票記載事項証明書	本人	300円/件
住民票の一部および全部の写し	本人または同一世帯に属する方	300円/件
戸籍附票の写し	本人または同一戸籍の附票に記録されている方	300円/通
印鑑登録証明書	本人で印鑑登録証(登録カード)を持参した方	300円/枚
所得証明書	本人	300円/枚
課税証明書		
納税証明書		
軽自動車税納税証明書	本人	無料

※委任状による取り扱いはできません。必ず本人が窓口で交付申請をしてください。

※運転免許証や健康保険証など本人確認ができるものをご持参ください。

※上記の証明書以外の発行はできません。

いきいき南丹

-14-

お元気ですか?
保健師です。



タバコは吸う人にも吸わない人にも害を与えます マナーを守った喫煙を心掛けましょう

最近では、屋内外問わず施設内禁煙、分煙を行っている場所が増加し、飲食店では席に案内される前に「タバコを吸われますか?」との問いかけが一般的になりました。

タバコを吸う人、吸わない人、それぞれが快く社会生活を送れるよう、分煙の徹底についてお話しします。

●受動喫煙の防止

受動喫煙とは、喫煙者の周囲の人が、タバコの煙を吸うことをいいます。

平成十五年に健康増進法が施行され、「多数の者が利用する施設を管理する者は、これらを利用する者について、受動喫煙を防止するために必要な措置を講ずるよう努めなければならない」としています。つまり、学校・官公庁はもとより飲食店・娯楽施設・事務所などでの受動喫煙による被害は、タバコを吸

う人ではなく、その場所を管理する者の責任となりました。これにより、社会の分煙化が広まってきたと考えられます。

では、なぜ分煙が必要なのでしょう。

●喫煙によるリスク

タバコの煙には、約四十種類の有害物質が含まれ、次のような疾患にかかるリスクが高まります。

- * 肺がんなどの各種がん疾患
- * 虚血性心疾患
- * 慢性気管支炎をはじめとする呼吸器疾患
- * 胃・十二指腸潰瘍
- * 妊娠中は、低体重児・流産・妊娠合併症

●分煙の大切さ

タバコの煙は、タバコのフィルターを通して口腔内に達する「主流煙」、吐き出された煙・点火部から立ち昇る「副流煙」に分けられます。驚くことに有害物質は、副流煙の方に多く含まれています。喫煙で問題になるのは、喫煙者はもとより、受動喫煙者に対しても、喫煙者と同様のリスクが高まることです。

タバコを吸わないのにリスクを背負うことについて、分煙の大切さを感じていただけるのではないのでしょうか。

職場での受動喫煙も管理者の責任が問われます。あなたの職場は大丈夫ですか?

●家庭での受動喫煙の防止

家庭内での喫煙は換気扇の下などで、家族の健康に配慮されている方が増えていますが、外出時はどうでしょうか。

歩きながら家族の近くで何げなく喫煙していませんか? 風向

きによって家族は副流煙にさらされています。

歩きタバコは、家族だけでなく周りの人にも迷惑になります。「タバコは喫煙コーナーで」を徹底しましょう。

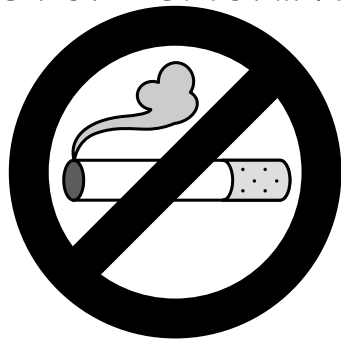
近年、携帯灰皿の利用など、喫煙者のマナーも向上しています。しかし、重ねてお願いしたいのは、妊婦さん、お子さんをはじめとする周りの人に対する配慮です。煙が及ぼす体への影響について、いま一度、確認いただき、マナーを守った喫煙を心掛けてください。

禁煙週間が始まります

五月三十一日から六月六日は禁煙週間です。愛煙家の多くは、やめたいと思ってもニコチン依存症という禁断症状のため、禁煙の達成が難しいのが現状です。

しかし、喫煙年数が長ければ長いほど、たばこの害によるリスクは高くなります。「どうせ挫折するし」とあきらめず、何度でもチャレンジし、確実な禁煙をお勧めします!

STOP SMOKING



ぶらり

なんたん 14

たじ たわら おんだ ～多治神社(田原の御田、カッコスリ)～

田原川沿いで今に生き続ける民俗芸能



▲田原の御田 (国指定重要無形民俗文化財)

田原川沿いの地域で、守り受け継がれてきた民俗芸能は、今に生き続けています。

「作太郎はん、けしからん今日は良い日ですわ」「作次郎はん、そんな結構な日やったらぼちぼち始めましょか」「そうですねあ」「よっこらしょ」

作太郎と作次郎の軽妙なやりとりで笑いを誘いながら、一年の稲作の過程が狂言風に演じられる『田原の御田』。毎年五月三日に、豊作を願って、日吉町田原の多治神社で行われる伝承芸能で、平成十二年に国の重要無形民俗文化財に指定されました。

また、十月の秋祭りには、豊作を祝い、羯鼓(かっこ)で四度建て替えられており、現在の本殿は、丹波地方では最大級の規模をもつ二間社流造の建物で、江戸時代の宝暦五年(一七五五)に建立された京都府登録文化財です。本殿前には、二本のタラヨウの高木が並び、神々しいたずまいで参拝者を迎えます。

「作太郎はん、けしからん今日は良い日ですわ」「作次郎はん、そんな結構な日やったらぼちぼち始めましょか」「そうですねあ」「よっこらしょ」

作太郎と作次郎の軽妙なやりとりで笑いを誘いながら、一年の稲作の過程が狂言風に演じられる『田原の御田』。毎年五月三日に、豊作を願って、日吉町田原の多治神社で行われる伝承芸能で、平成十二年に国の重要無形民俗文化財に指定されました。

また、十月の秋祭りには、豊作を祝い、羯鼓(かっこ)で四度建て替えられており、現在の本殿は、丹波地方では最大級の規模をもつ二間社流造の建物で、江戸時代の宝暦五年(一七五五)に建立された京都府登録文化財です。本殿前には、二本のタラヨウの高木が並び、神々しいたずまいで参拝者を迎えます。



▲多治神社本殿 (京都府登録文化財)

と呼ばれる鼓を打ち囃して踊る、京都府の無形民俗文化財『カッコスリ』が行われます。

多治神社の本殿は、これまで四度建て替えられており、現在の本殿は、丹波地方では最大級の規模をもつ二間社流造の建物で、江戸時代の宝暦五年(一七五五)に建立された京都府登録文化財です。本殿前には、二本のタラヨウの高木が並び、神々しいたずまいで参拝者を迎えます。

ぶらり案内



多治神社民俗芸能保存会
会長 藤井日出夫さん

多治神社民俗芸能保存会の会長、藤井日出夫さんにお話をお伺いしました。「多治神社は古い歴史のある神社で、『田原の御田』や『カッコスリ』など、大変貴重な文化財が受け継がれています。この伝統行事には、大阪など多方面からも毎年多くの方が見に来られ、ここで撮られた写真がコンクールで入賞されたとの報告もいただきました。形があるものはもちろん、人から人へと伝承していく無形のものは、保存・継承していくのが大変難しいことですが、地域の方々などに長年にわたってお世話になり、守っていただいております」



田原の御田(牛買い・一部抜粋)
―作次郎と牛売り(作太郎)―

作次郎：良いお天気で。毎年多治神社の御田に、良い牛をお世話してもうとるで、今年も一つ世話になりたいと思ってるんですが。

作太郎：毎年のことやで、良い牛を残しとります。これ、見てください。

作次郎：なんと、これは、けしからん良い牛ですな。ついては、値段を決めんことには……。

作太郎：二十両でどうでっしゃろ。

作次郎：いやいや、もうちょっと負けてもらえまへんか。

作太郎：ほんなら、二十両のところを、負けて二十五両にさせてもらいましょか。

作次郎：へえ、そらうれしい。二十両のところを、二十五両に負けてもろて、そつしましょ。

作太郎：おおきに。

「オリジナル食器をつくろう」と題した食器の作成教室を南丹市日吉町生涯学習センターで行いました。

市内の方を対象に同センターが行った教室には、親子連れや地域の子もたち、主婦などおよそ30人が参加。参加者らはコーヒーカップやケーキ皿、サラダボールなど用意された白磁器に、花柄やかわいい動物など、さまざまな模様が描かれた転写シールを水でふやかして張り付け、思い思いの作品を作っていました。

食器は、同センターによって焼き上げられた後、参加者に渡されます。

(4/30・「オリジナル食器をつくろう」)

「世界に一つの食器をつくろう」



▲好きな絵柄を張り付けて完成

「生きがいを持って元気の毎日を送りましょう」

(4/27・南丹大学開講式)



▲鈴木住職の講演に耳を傾ける参加者

南丹市八木公民館が、地域のお年寄りの生涯学習として取り組んでいる「南丹大学」の開講式を同公民館で行いました。式では、今年度登録した220人の受講生に事業計画が説明されました。また、地元の福寿寺の鈴木春海住職による「いきいき 生きる」と題した講演が行われました。鈴木住職は「70歳、80歳からが本当の人生。自分の趣味を高めることで得られる充実や達成感を生きがいに、元気の毎日を送りましょう」と受講生に呼びかけていました。

みんなのひろば
まちの話題を
紹介します



身近な話題を広報係(0771)68-0003へお寄せください。

「京都建築工芸大学校で入学式を挙行」

(4/13・京都伝統工芸大学校入学式)

4/16・京都建築工芸大学校入学式

今年度から名称を新たにされた〈専〉京都伝統工芸大学校(松村賢治校長・生徒数453人)、〈専〉京都建築大学校(吉田晋校長・生徒数2,077人)の入学式が園部町小山東町の両校で行われました。

〈専〉京都伝統工芸大学校の入学式では松村校長が「大きな夢を持って、それに向かってまい進してください」と式辞を述べられました。また、新入生を代表して加藤由香子さんが「豊かな感性を身につけ、伝統工芸の継承者となれるよう努力していきます」と決意を述べられました。

今年度、〈専〉京都伝統工芸大学校では198人、〈専〉京都建築大学校では589人が入学されました。



▲決意を述べられる加藤由香子さん



▲「元気に大きく育てよ」

美山漁業協同組合（上林實組合長）は、今年も美山川に稚アユの放流を行いました。今年はこの日を皮切りに10回にわたり、合わせて6ト（およそ100万匹）が放流される予定です。

毎年、多くの釣り人でにぎわう美山川。今年の友釣りの解禁日は6月10日ということで、順調に成育してくれるようにと、漁協役員らは元気に泳いでいく稚魚を見守っていました。

「美山川にアユの稚魚を放流」

（4/17・アユの稚魚放流）

身近な健康管理として、生活習慣病の予防や健康づくりを目的に楽しい健康ウォーキングに取り組まれているsonobe健歩会。4月21日のウォーキングでは南丹市園部町の京都新光悦村から千妻までを歩かれました。途中、新光悦村では佐々木市長が歓迎のあいさつを行ったあと、市の担当者から新光悦村の説明があり、整備された散策道やため池などを見学して、新たな地域の歴史を感じていました。



▲「健康憩の園」を散策する参加者

「楽しく歩いて楽しく健康づくり」

（4/21・sonobe健歩会 歴史健康ウォーキング）

「会員の親睦を深め健康推進につなげる」

（4/21・南丹市グラウンドゴルフ協会設立交流大会）



▲会員同士の親睦を深めました

第1回南丹市グラウンドゴルフ協会春季大会が、南丹市園部公園スポーツ広場で開催されました。

4月1日に南丹市グラウンドゴルフ協会（会員数716人）が発足し、初めてとなった大会には260人が参加。人見章郎会長が「会員同士の親睦を深め、高齢者の健康推進につなげたい」とあいさつされました。競技では、お互いの練習の成果を競うとともに、会員同士が和やかに会話を交し合うなど、親睦の深まる大会となりました。

「南丹市園部公園スポーツ広場が利用できます」

（4/15・南丹市長杯少年野球大会）

旧園部町から引き継いで事業を行ってきた南丹市園部公園スポーツ広場が完成し、今春から利用が可能になりました。当広場は21,100平方メートルで野球コートとして1面、サッカーコートとして2面が利用可能です。利用料金は市内に在住、在勤されている方、市内で活動されている団体は、午前中2,100円、午後からは3時間以内の利用が2,100円でそれを超えるごとに1時間700円が加算となります。

利用に関しては、管理する南丹市園部海洋センター（TEL0771-68-0084）へお問い合わせください。



▲使い初めを記念して行われた少年野球大会



府民の森ひよし「新緑祭」

5月3日から6日に「府民の森ひよし」で行われた「新緑祭」。子どもに大人気のモノレールは、森を抜け約10分で山の頂上へ到着します。森を吹きぬける爽やかな風と、眼下に広がる景色に新緑の色を増す季節を体感できます。

日吉町地域でCATVのサービスが始まり、来年度には美山・八木地域でもサービス開始です。きれいなテレビ画像と多チャンネル放送、高速インターネットで毎日が楽しくなるのではと期待しています。また、自主放送では身近な話題がテレビで放映されるといふ楽しみもあります。CATVへの市民の皆さまのご協力をお願いします。

(S)

編集後記

京都広報賞で知事賞を受賞



「ぼくらはちびっ子消防士！」
6/30 幼年消防クラブ「防火七夕会」

平成十八年度京都広報賞（一枚写真の部）で広報なんたん七月号一面「ぼくらはちびっ子消防士！」（撮影・清水隆行）が知事賞に選ばれました。「子どもたちの未来や消防・防火に対する意識が感じられる」と評価をいただきました。

広報
なんたん

人と地域を結びます 南丹市全域に情報ネットワークを構築
 ■ 屋外には耐候性樹脂を用いて、減速を促していませんか？
 ■ 南丹市消防委員会 消防出初式に出席
 ■ いよいよ南丹「ぶらりなんたん」のり開始～
 ■ なんたん最時記「水災時」/お家のアイドル

7月号
2006年 7月号



- 総人口：35,892人 (+143)
(男：17,245人・女：18,647人)
(+113) (+30)
- 世帯数：13,553世帯 (+212)

(平成19年5月1日現在)
()内は前月比

写真掲載の応募をお待ちしています。(応募数によっては順番待ちになることがあります) 詳しくは企画情報課秘書広報係まで

広報
なんたん

編集・発行：南丹市役所 総務部企画情報課
〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47

TEL：0771-68-0003 FAX：0771-63-0653
URL：http://www.city.nantan.kyoto.jp
e-mail：kikaku@city.nantan.kyoto.jp



本紙は環境への配慮から、古紙100%の再生紙に、ソイインキ(大豆油)で印刷しています。